

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/31

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.73	0.33
JPY/THB	0.2189	0.0009
USD/JPY	149.51	1.05
EUR/THB	37.33	-0.08
EUR/USD	1.1405	-0.0142
USD/CNH	7.211	0.031
SGD/THB	25.23	0.09
AUD/THB	21.06	-0.02
USD/INR	87.43	0.61
USD Index	99.82	0.93

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.323	-0.010
10Y (THB)	1.517	-0.001
5Y (USD)	3.964	0.064
10Y (USD)	4.370	0.050

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,295.8	-28.2
WTI (Oil)	70.00	0.79
Copper	9,698.5	-99.5

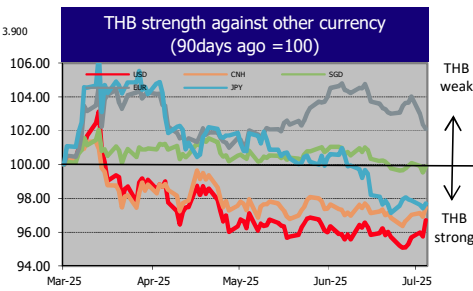
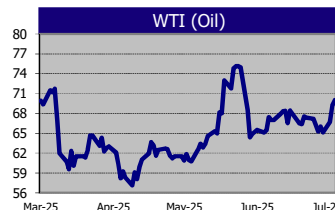
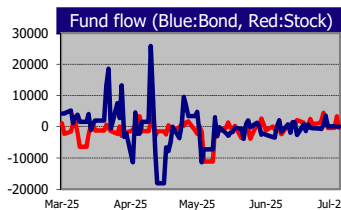
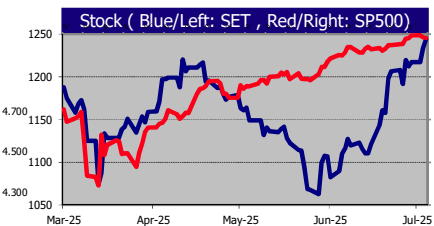
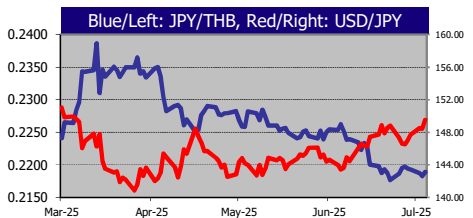
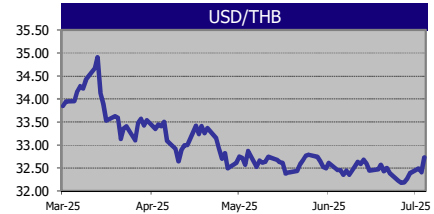
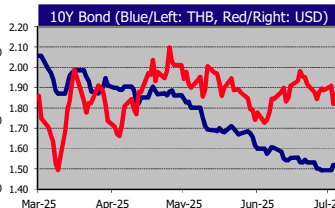
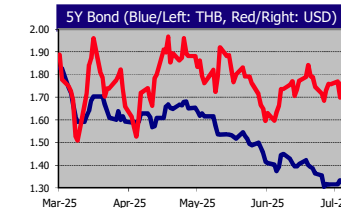
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,244.14	10.46
NIKKEI (JP)	40,654.70	-19.85
DOW (US)	44,461.28	-171.71
S&P500 (US)	6,362.90	-7.96
SHCOMP (CN)	3,615.72	6.01
DAX(GER)	24,262.22	44.85

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(265)	-3644.7
Bond net flow	67	-5.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパート

ドルパートは上昇。32.40近辺で取引を開始したドルパートは、底堅く推移。タイ財務省が2025年GDP見通しを従来の2.1%から2.2%へ引き上げたが反応は限定的となり32.40台での取引が継続。その後ビチャイ財務相が米国との貿易協定は水曜日に締結される見通しとコメントするも、米州時間にFOMC会合を控える中で反応は限定的となった。海外時間に入り発表された米ADP雇用統計が堅調な結果となったことに加え、米Q2のGDPは前年比+3.0%となり市場予想を上回る結果となったことを受けてドルが買われる展開となりドルパートは32.60台まで上昇。その後のFOMC会合では事前の予想通り政策金利の据え置きが決定された一方、パウエル議長会見では「9月利下げについて決まったことはない」「関税のインフレへの影響を見極めるにはまだ早い」と等とされ、利下げ期待が後退。ドルが上昇する中でドルパートは32.70台まで上昇した。

●ドル円その他

ドル円は148円台半ばで取引を開始。カムチャツカ半島地震やそれに伴う津波の影響が意識されてか円が買われ148円近辺まで下落。その度は同水準で推移したが、海外時間入り後に発表された堅調な米経済指標結果を受けドル高が強まると149円近辺まで上昇。FOMC結果を受け一時149円台半ばをつけたが引けにかけては一部上昇幅を縮小させ149円台前半でクロース。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCは、大方の予想通り、政策金利の据え置きが決定された。据え置き自体は完全に織り込まれていたため、今回は反対票が何票入るかに注目が集まっていたが、結果は2票と市場の想定内。この時点では相場への影響は限定的だったが、その後の記者会見でパウエル議長が今後の政策運営について明確な姿勢を示さなかったことがタカ派と捉えられ、9月利下げ期待が後退し、為替市場はドル全面高となった。これによりスワップ市場が織り込む9月の米利下げ期待はまたも五分五分の状態に戻った。引き続き次回会合となる9月に向けて経済指標を見ながら一喜一憂する展開は続きそう。そして本日、数時間後には日銀金融政策決定会合の結果が発表される。こちらも政策金利の据え置きがコンセンサスなので、注目は同時に発表される新たな展望レポートや、会合後記者会見での植田総裁の発言になるだろう。日米関税協議の合意を受けて追加利上げのタイミングやパスに関するヒントが得られるかに耳目が集まるが、国内政治情勢が混沌としている中であっては、日銀としても財政政策は見通しづらいはずであり、期待するほど新たな材料は出にくい。その場合、円安地合いに拍車がかかる展開に注意したい。また、タイでは、米国との関税交渉が大詰めを迎えており、新しい関税率が今週にも発表される可能性があると報じられている。タイパートの動きという点ではこちらのヘッドラインに注意が必要だ。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.